

地球生きものプロジェクト一覧(概要) (平成22年8月2日現在)

地球生きもの委員会の方針に沿い、国際生物多様性年及び国際生物多様性の日の普及に寄与するため、同委員会委員が実施する事業を「地球生きものプロジェクト」とし、プロジェクト毎にプロジェクトチームを設けて実施する。

■地球生きものプロジェクト名（実施期間／実施主体）

1. 記念行事

○平成21年度野生動物写真コンテスト入選作品展 (3月～／(財)自然公園財団)

野生動物写真コンテストの入賞作品全32点の巡回展を、全国各地のビジターセンター等で開催する。

○国際生物多様性年記念イベント (4月／環境省)

2010新宿御苑みどりフェスタの開催に合わせ、自然環境功労者大臣表彰式及び環境省地球いきもの応援団等による行動宣言式を行い、国際生物多様性年の気運を高める。

○第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト

(6月／(社)日本経団連 自然保護協議会、(社)国土緑化推進機構、(社)日本アロマ環境協会、(財)水と緑の惑星保全機構)

日本の企業の里山保全・再生といった豊かな生物多様性の保全や持続可能な利用等の実践的な活動を国内外に発信するとともに、特に優れた企業の実践活動を顕彰する。

○COP10／MOP5カウントダウン100 (7月／CBD市民ネットワーク)

COP10開催100日前イベントの総称。「一日でわかる生物多様性」をテーマに市民が手掛ける最大級の普及啓発イベントとして国際生物多様性年を盛り上げていく。

○国際生物多様性年クロージングイベント

(12月／農林水産省、環境省、石川県、金沢市などで構成する実行委員会)

国際生物多様性年年の国際的なクロージングイベント（閉年行事）を、COP10議長国である日本で開催し、国際年における各国の取組やCOP10の成果等を世界にアピールする。

2. 記念活動

○グリーンウェイブ2010

(3月～5月／環境省、農林水産省、国土交通省)

5月22日を中心として、青少年などが全国各地で植樹や植樹した樹木への水やりを行う活動を呼びかけるもの。

○国際生物多様性年映像化プロジェクト

(5月～／堂本暁子委員、生物多様性JAPAN、(株)BS-TBS、(株)Green TV Japan、環境省)

生物多様性とその重要性をわかりやすく伝える内容の映像を制作し、国際生物多様性の日（5月22日）に合わせてBS放送で放映するとともに、DVD化して自治体等に配布し、小学生等の学習活動に寄与する。

○想いでつながろう！COP10おりがみプロジェクト

(5～12月／IUCN-J)

COP10のロゴを形づくっている“おりがみ”を使ってCOP10会場を盛り上げると同時に、人々の想いをつなぎ、生物多様性（いのちのつながり）を大切にするきっかけを提供する。

○生物多様性国民運動 全国いきもの巡りスタンプラリー

(7月～／環境省)

各地の自然とふれあい、生物多様性に関して知識や理解を深め、具体的な保全活動につながる契機を得ることを目的とし、国立公園のビジターセンターなどで実施する自然体験プログラム等に参加してもらうスタンプラリーを実施する。

○国際生物多様性年自然とのふれあい展示

(8～10月／国立公園サポーターズ、環境省)

生物多様性に関して子どもたちが制作した絵画、ポスター、イラスト等の優秀作品の展示や、野生生物に関する写真展を開催する。

○地球のことはみんなで語り合おう

(通年／CBD市民ネットワーク)

インターネットメディアに市民の知見経験などが蓄積され、多くの市民が引用し新たな行動を育む、市民による生物多様性バーチャルシンクタンク企画。